

2. 和と漸化式, 配列, リスト

- 配列とは, データを一行に並べ, 添字 (index) によって要素を指定できるようにしたデータ構造である.
- 単方向連結リストとは, 各要素がデータと 1 つのポインタからなり, 各要素のポインタは後続要素のアドレスを格納するデータ構造である. 単方向連結リストは, 指定された要素の後ろに要素を追加したり, 指定された要素の後ろの要素を削除することが容易にできる.
- 双方向連結リストとは, 各要素がデータと 2 つのポインタからなり, 各要素のポインタは先行要素と後続要素のアドレスを格納するデータ構造である. 双方向連結リストは, 指定された要素の前後に要素を追加したり, 指定された要素を削除することが容易にできる.

問題

(解答に際して, その問題より前にある問題の結果を用いてもよい. 配列の添字は 0 から始まるものとする.)

2-1. $\sum_{k=1}^n (k^2 + k + 1) = O(n^3)$ が成り立つことを示せ.

2-2. $\sum_{k=1}^n \sqrt{k} = O(n\sqrt{n})$ が成り立つことを示せ.

2-3. $0 < r < 1$ とする. $\sum_{k=n}^{\infty} r^k = O(r^n)$ が成り立つことを示せ.

2-4. 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = 1, \quad a_2 = 1, \quad a_{n+2} = a_{n+1} + a_n$$

で定義する. このとき, $a_n = O\left(\left(\frac{1+\sqrt{5}}{2}\right)^n\right)$ が成り立つことを示せ.

2-5. 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = 0, \quad a_n = 2a_{\lceil n/2 \rceil} + n$$

で定義する. ただし, 実数 x に対して, $\lceil x \rceil$ で x 以上の最小の整数を表す.

(a) 正の整数 n と非負整数 k に対して, $b(n, k)$ を

$$b(n, 0) = n, \quad b(n, k + 1) = \left\lceil \frac{b(n, k)}{2} \right\rceil$$

で定義する. $n \geq 2$ に対して, $2^{l-1} < n \leq 2^l$ を満たす整数 l を取ると, 次の式が成り立つことを示せ.

$$a_n = \sum_{k=0}^{l-1} 2^k b(n, k).$$

(b) $a_n = O(n \log n)$ を示せ.

2-6. n 個の整数が格納されている配列 a と整数 x に対して, $a[i] = x$ となる添字 i のうち最小のものを求めるアルゴリズムを書け. ($a[i] = x$ となる添字 i は存在するとしてよい.)

2-7. 次の表で表される, 「C」で始まり「R」で終わる単方向連結リストを考える.

アドレス	10	20	30	40	50	60	70
データ	C	E	M	O	P	R	T
ポインタ	40	60	50	30	70	0	20

リストの先頭を指すポインタは 10 であり, 指し示す要素がないときポインタは 0 とする. いま, このリストの「P」の直後に新しいデータ「U」を挿入したい. データ「U」のアドレスが 80 であるとき, どのような操作をすればよいか述べ, その結果として得られるリストを上表のように表せ.

2-8. 次の表で表される, 「N」で始まり「R」で終わる双方向連結リストを考える.

アドレス	10	20	30	40	50	60	70	80	90
データ	B	E	G	H	I	N	O	R	U
先行要素へのポインタ	40	60	50	30	20	0	10	90	70
後続要素へのポインタ	70	50	40	10	30	20	90	0	80

指し示す要素がないときポインタは 0 とする. いま, このリストからデータ「U」を削除したい. どのような操作をすればよいか述べ, その結果として得られるリストを上表のように表せ.